

## 健康保険組合

事務局長 小松 左和

---

### 法人統合

2023年11月1日付けにて、医療法人松田会が社会医療法人近森会に法人統合されたことにより、近森会健康保険組合の管理する事業所は2事業所から1事業所に変更となった。医療法人松田会の加入員・被扶養者に対しては保険証を新規発行することとなったが、総務課とオルソの準備と対応により、旧保険証も遅滞なく回収することができ、混乱なく保険証の移行は完了した。

### 人事

小松監事の議員辞任 谷知明氏が議員に選定され、監事選挙で当選し4/1で選定監事となる。

5月末で事務局長 田村裕彦氏が退職し、後任は小松左和6月1日着任。健康保険組合設立時からの経緯を知る人材が不在となることから、田村氏には非常勤職員として必要時に引き続き勤務を依頼している。

### 徴収・収納

一般保険料率は本体9.16%（1%アップ）、調整保険料0.147%で計9.307%、介護は1.69%で変更なし。

介護保険料は健康保険組合に介護保険事業等はなく、単なる国の代理徴収である。納めるべき介護保険料に対して、代理徴収している介護保険料が少ない状況が継続しており、準備金を切り崩して凌いでいる状況である。

### 実地監査

2023年12月6日（水）四国厚生支局保険年金課による実地監査の実施。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、4年ぶり（前回2019年）の実地監査であった。人事異動もあり、実地監査の経験者が1名のみで、しかも4年前はほぼ携わっていなかったという状況下であったため、準備には多くの時間を要したが、各種規程や運用の見直しを行ったことは我々事務局にとってもいい機会となった。

### 特定保健指導の外部委託開始

40歳以上の職員が特定保健指導の対象者となった場合、近森会は健康管理センターで勤務時間中に特定保健指導が受けられるメリットがあるため、実施率は全国平均の34%より高く推移している。ただし、日中どうしても時間が取れない方や、職員同士の保健指導に抵抗感がある方のために、アプリを利用した外部業者の保健指導も選択できるようにした。自由な時間にフィットネス等のコンテンツが利用できる等、セルフケアの一助となることを期待している。

## 保健事業

- ・子宮頸がん検診に HPV 検査、エコー検査の選択設定を追加（にこにこレディースクリニック）
- ・郵送による前立腺がん検査の開始（株式会社メスプ・コーポレーション）
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた事業の再開

11/11 鏡川河畔健康ウォークの開催

11/30 院内集団歯科健診の実施

ソフトボール大会、バレーボール大会が開催され、体育奨励として参加賞提供  
職員食堂の健康メニュー補助

表 1 主な検診等実績数

健診・健診	2022 年度	2023 年度
胃がん	29 件	43 件
子宮頸がん	232 件（バス 190+外部 42）	40 件（外部のみ）
乳がん	---	205 件（バス 163+外部 42）
大腸がん（便潜血）	116 件	113 件
前立腺がん	---	28 件
歯科健診	46 件（外部のみ）	99 件（院内 39+外部 60）
AICS	59 件	64 件
脳ドック	11 件	8 件

## 総合健康マネジメントシステムの導入

レセプトと健康診断情報を統合的に一元管理し、分析するためのシステムを 4 月に導入。  
喫煙者と非喫煙者の医療費比較やマルチリスク該当者の医療費と疾病傾向などの分析が可能となったため、事業主とコラボして疾病の予防に役立てたい。

## その他

- 1 月 アンケート結果公表
- 2 月 組合会開催（予算承認、保険料率引き上げ、経常赤字予算）支局に保険料変更届出  
医療費通知
- 3 月 任意継続者へ納付書送付、高知連合会総会
- 4 月 入社式にて健康保険組合についての講話と冊子「社会保険の知識」を全員に配布  
ジェネリック通知書配布
- 5 月 健康管理推進委員会（前年度健診の実績報告）、決算見込表提出、セット券発送
- 6 月 内部監査実施、お口ケア参加者募集、高知連合会総会、広報誌「はつらつ」発行  
データヘルス計画実績報告
- 7 月 組合会開催（前年度決算報告）、福利厚生倶楽部活用説明会開催
- 8 月 扶養家族検認
- 9 月 特定保健指導の案内、医療費通知、決算概要表提出
- 10 月 前年度特定健診特定保健指導実績報告、乳がんバス検診、ジェネリック通知書配布
- 11 月 広報誌「はつらつ」発行、乳がんバス検診、糖尿病巡回指導、健保組合アンケート
- 12 月 健康管理推進委員会（アンケート結果）

## 総括

新型コロナウイルス感染症の影響で見合わせていた事業も状況を見ながら再開していった。

11月には医療法人松田会が社会医療法人近森会へ法人統合され、松田会職員の資格喪失と資格取得を同時に行うこととなり、保険証の交付や旧保険証の回収、規約変更などの事務手続きが生じたが、関係各部署のご協力と事前準備のおかげで混乱なく実行できた。

また、近森会健康保険組合設立時から事務局長を勤めた田村裕彦氏の退職により、経緯を知る人材が不在となった状況下での4年分の行政監査は負担の大きいものとなった。

がん検診などの保険事業についてはアンケート結果により高評価ではあるものの、「知らなかった」との回答も15～30%あり。サイボウズの掲示板、広報誌「はつらつ」等によりお知らせをしているが、サイボウズの掲示板をみる頻度が、ほぼ毎日49%、週2～3回21%に対して、それ以下との回答が30%と高いことが判明。折角の機会を逃しており、広報活動の難しさを痛感している。

【お断り】健保組合の運営は全てにおいて年度単位となっており、1～12月の年報においては、前年度の1～3月が混在することになるため、組合の実績報告値とは若干の差が生じる場合があることをご了承ください。

## 議員一覧と事務局

表2 健康保険組合 組合会議員一覧

2023. 12. 31 現在

	選定議員	互選議員
理事	(理事長) 近森正幸	八木 健
理事	(常務) 寺田文彦	吉永富美
理事	岡本充子	小笠原正
議員	戎 正司	筒井由佳
議員	和田恵美子	益 大五
議員	中山明守	松木宏行
監事	谷 知明	西森千景

表3 近森会健康保険組合 事務局

事務局	
事務局長	小松左和
	井門加織
	入野 愛